



2018

第53号

2月1日

とめ 市議会だより

「親子3代祈願」
(横山 火伏の獅子舞)



目次

12月定期議会	2
常任委員会報告	5
ここが聞きたい(一般質問)	9

新クリーンセンター用地造成 工事請負契約の変更 **35%増額**

Q 積算の甘さがこのような事態を招いたのではないか。
A チェックが不十分だった点は深く反省する。
Q 障害物が出た時点で工事を一旦ストップし、確認するべきでは。
A 新クリーンセンター建設本体工事への影響が懸念されたため、急いで行った。
Q 工事の進捗状況は。
A 11月末で94%である。
Q 追加で発生した工事の細目、当初に見込めなかった理由は。
A 当時は手計算で行っていた。本来積算すべき点で欠落が多く、申し訳ない。

◎(仮称)新クリーンセンター用地造成工事
 切土工などの追加工事発生に伴い、用地造成工事の請負契約金額を5億4844万円から7億4142万1080円に変更するもの。

工事請負契約の変更

可燃ごみ袋 値下げへ 4月1日より 1枚50円から30円に

12月定期議会は、12月8日から21日までの14日間の日程で開かれました。本定期議会では、指定管理者の指定や条例の一部改正、各種会計補正予算審議などが行われ、すべて原案のとおり可決しました。また、今回、新たな特別委員会も設置しました。なお、一般質問には、19人の議員が登壇し、市長にその考えをいただきました。

条例改正

◎市手数料条例の一部改正
 40リットル可燃ごみ袋を1枚あたり50円から30円に変更。また、15リットル可燃ごみ袋(35円)を20リットルで20円に変更するもの。

Q 現状のごみ袋は、以前と比べて強度が弱いとの声がかかるが。
A 折り方を変えたことが原因と考えられる。今後は新しいラインの別の機械を使用し製造するので、改善すると考える。
Q ごみ袋の価格を変更したことによる減収の額は。
A 4200万円ほどと考える。

反対討論 中澤 宏議員
 ごみ処理に税金が使われることから、出した量に比例した費用負担をしていただかないと公平性を欠くこととなる。このことは、値段を下げるほど顕著になり、全国的に見ても有料化・値上げの方向に向かっている。よって、市民の負担の公平を考え、減額に反対する。

賛成討論 佐藤恵喜議員
 市長の説明からは、市民の暮らしを少しでも支えたいという思いが伝わった。また、分別のルールも守られてきているとのことであるので、今回の値下げを契機に行政と市民の協力・協働のもと、ごみの減量化に頑張っていきたいと考える。
採決 起立多数で原案可決

反対討論 佐藤恵喜議員
 第二最終処分場埋立地の教訓が生かされておらず、全く不十分である。また、想定のない費用計上が新たに10項目も発生しているなど理解できない。条例抵触が疑われることから、本案に反対する。
 田口政信 議員
 当初設計段階での不十分さが露呈したものだ。また、これまで提案が遅れ、変更後の工期が残り1週間の日程で工事を完了させることに理解できない。これは、まさにルールを無視した提案なので反対する。

賛成討論 岩淵正弘 議員
 工事の変更において、市役所内部の不要な手続はあった。しかしながら、建設業法には全く違反していないので賛成する。
 相澤吉悦 議員
 報告が遅れたのは、「工事を急がねば」との思いからだと感じた。工事がここまで進捗している中で否決すれば影響も大きい。さまざま判断した結果、賛成する。
採決 起立多数で原案可決

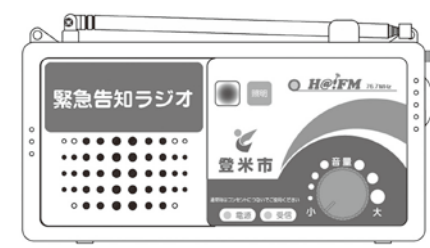
◎市消防団条例の一部改正
 近年の社会環境等の変化に伴い、消防団員の定数及び費用弁償の見直しを行い、消防団員の処遇改善を図るもの。

改正の内容
 団員の定数を2053人から1700人とする。
 水防・火災・警戒出動手当について、これまでの1回につき3200円から3700円とし、機関員・機械整備手当は年額であったものを、整備点検手当として、1回につき1500円とするもの。



出初式で一斉放水する消防団員

◎緊急告知ラジオ等整備事業業務委託
【契約金額】 2億8563万円
【契約の相手】 株式会社 システムズ
【工期】 30年3月30日



◎(仮称)新登米懐古館新築工事
【契約金額】 3億8869万円
【契約の相手】 株式会社 渡辺土建
【工期】 31年5月31日

付帯決議

- 1 今回の用地造成工事の変更で露呈した、執行部による事業推進体制の不備に関し、今後の各種事業執行の際に、留意を求めもの。
- 2 執行部内部の情報共有や組織体制の整備の充実強化に努めること。
- 3 議会、委員会への適正な時期での状況報告に努めること。
- 4 議案、委員会に則った契約変更の手続きをとることまで盛り込まれていないので反対する。

採決 起立多数で原案可決

公共施設のあり方調査 特別委員会を設置

【設置目的】
 本市における多くの公共施設は、昭和40年代後半から平成初期に建設され、今後多くの施設が更新時期を迎えることになる。今後の公共施設のあり方、新たな施設建設等について、限りある財源をより有効に活用する必要があるので、特別委員会を設置し、調査・研究・検討を行うもの。

【委員の定数】 10人

委員長	沼倉 利光	委員	中澤 宏
副委員長	岩淵 正宏		浅田 修
委員	佐々木好博		佐藤 恵喜
	氏家 英人		田口 政信
	武田 節夫		八木しみ子

一般会計

一般会計補正予算は、歳出で住まいサポート事業、地域型保育給付事業などを増額して計上。一方で、道路新設改良事業などを減額するもの。

住まいサポート事業 1500万円

市内に新たに住宅を建築、または購入し入居した人および市内へ移住し、民間住宅を賃借した人に対して補助金を交付し、移住・定住を促進するもの。

ここにきて増額というのは、当初の見込みが少なかったのでは。

28年度の予測を基に当初

予算を組んだ。見込みが甘かったとは思っていない。

本市として魅力あるまちづくりを目指す上で、データをつかみ、分析が必要と考えるが。

移住・定住を進めるにあたっては、実績ではなく、全体としての目標、成果の把握が重要と捉えている。

上杉文庫基金事業 500万円

上杉恭弘氏および医療法人 恭謹会からの篤志寄付(29年度・30年度各500万円)を基金として積み立てを行う。基金の活用にあたっては、児童生徒の読書活動の習慣化を図るとともに、学習効果を高めるため、30年度から順次

200万円を上限に図書を購入する。

図書内容は3作者分を複数セット購入し、市内の子ども達が同じ本に触れることで、学習機会を均等に提供したい狙いがある。

なお、管理方法は、迫図書館において一括管理とし、3校ごとに1学期ずつローテーションで貸し出しを行う。

要保護児童・生徒等 就学援助事業 658万円

経済的理由により就学困難と認められる小中学校入学前の児童生徒の保護者に対して、新入学児童生徒学用品費を、これまでの7月支給から入学前の2月に支給することで、経済的負担の軽減を図るもの。

早く支給すると、本来の目的に使われない可能性はないのか。

7月では、準備に大変、という声を反映した。

総務企画常任委員会

市民に利活用される 総合支所に



物置化している東和総合支所(旧議場)の様子

4 総合支所を現地調査 (10月31日現地調査)

総合支所の現状と課題

各総合支所は、地域住民の拠り所となつてきている。また、空き室・空きスペースの状況などを調査するため米山、登米、東和、石越の4総合支所を現地調査した。どの支所でも空き室、空きスペースが多く旧議場を含め、倉庫・書庫代わりとなつており、雑然としている感が否めない。また、建物の老朽化が著しい支所もあり、今後、どの程度手を加えていくのか検討が望まれる。

支所機能について

毎年職員が減つていく状況の中、限られた職員数での市民サービスの提供は厳しいと感じた。また、近年の職員構成は他町域出身職員が増えているが、災害対応などを考えた時、地域に関わる総合支所であるからこそ、地域を知り尽くしている地元出身職員の配置が望まれる。

補正予算の主なもの

Table listing budget items and amounts: 保育所等整備事業 1,085万円, 障害児通所給付費支給事業 2,875万円, 佐沼こども園周辺敷地共用道路整備事業 1,149万円, 施設型給付事業 2,021万円, 地域型保育給付事業 4,057万円, 道路新設改良費 Δ13,599万円

水道事業会計

管路情報システム 管理業務委託 5870万円

25年度から管路の資産管理を目的として、各種情報をデータベース化し、漏水に伴う断水管理などへ対応可能なシステムを構築してきた。現在運用中のシステムが契約期間満了となることから、継続して利用するため債務負担行為を設定するもの。

市民要望への対応

市民要望の中で多いのが道路修繕などの社会インフラの整備であり、総合支所は建設部、産業経済部との連携のもとで対応している。しかし今後、総合支所に権限と財源が与えられるならば、寄せられる市民要望は総合支所内で判断し、完結させなければならなくなると予想する。仕事量と職員数のバランスに配慮が必要ではないかと考える。

総合支所の現状と課題

(11月20日調査)

市長は所信表明で「総合支所に権限と財源を付与し、それぞれの町域の特性を活かしたまちづくりの拠点として、総合支所の在り方を見直す」としている。その方向性について、現場(総合支所)ではどのように考えているのか。また、現状の職員数の中で可能なかを9総合支所長、市民課長、課長補佐参集のもと意見交換を行った。「権限

消防団条例の一部改正

(11月20日調査)

消防団組織の実情に応じた体制整備と消防団員の処遇改善を図るための改正で、現場活動の労に報いる手当とすること、団員の士気の向上を目指すもの。本委員会で、28年度に「登米市消防団改革に関する提言書」を市へ提出した経緯がある。消防団は、市民が安心して生活していく上で必要不可欠な組織である。条例の一部改正により団員の士気の向上はもとより、ひいては団員増へとつながることに期待したい。

12月定期議会審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

Table with columns for 議員名, 議案名, 議決結果, 賛成, 反対, 採決, 結果. Rows include 議案第85号, 議案第99号, 議案第7号.

※採決結果欄 (○)は賛成、(×)は反対、(欠)は欠席、(議)は議長。



鴻ノ木・薬師島線整備の進捗を調査

30年度完成予定 3事業を調査

産業建設常任委員会

鴻ノ木・薬師島線整備、中埠橋橋りょう補修、定住促進宅地造成事業

(9月19日現地調査)
南方町新島前から迫町北方字日向前へと抜ける市道整備である「鴻ノ木・薬師島線整備事業」、橋りょう長寿命化事業に伴う「中埠橋橋りょう補修工事」、米山町中津山地区に整備される「定住促進住宅造成事業」は、それぞれ30年度までを工期としている事業である。

特に、旧米山高校跡地の一部に整備される定住促進住宅造成事業は、本市の事業として初の宅地造成事業となる。安価な分譲価格と自然環境をPRすることで、定住促進を進めてほしい。

とめまちゼミの開催状況

(10月31日調査)
個店と消費者の交流を生む仕組みづくりとして、全国商店街支援センターが開催支援する当事業の研修を市が商店会等に提案した。佐治大通り・大網商工振興会において、研



少人数学級の現状を調査(横山小)

学校再編は保護者や地域のひとと十分話し合いを

教育民生常任委員会

地域医療介護総合確保(介護施設整備に関する)事業

(9月14日調査)
高齢者が介護を必要となっても、できる限り住み慣れた地域で生活できるように、既存の地域密着型特別養護老人ホームを増床するもの。特別養護老人ホームの待機者が多くなっている現状では、その解消のために、さらなる整備が必要と考えられる。

陸上競技場整備基礎調査

建設候補地を中田総合体育館周辺としている。これまでの経過を踏まえ、詳細な経過説明や具体的な整備内容を示されたい。より良い陸上競技場となるよう、継続して調査を行っていく。

医療局今後の病院経営

(9月19日調査)
医師をはじめとする医療人材の確保が、今後の病院経営の最も重要な課題である。総合診療医の育成を図るため

の、東北大学病院との連携による「寄附講座」や東北医科大学とのサテライトセンターの設置により、医師数の今後の増加に期待する。

一般廃棄物処理施設整備事業

(9月22日調査)
新クリーンセンターは、本体工事・外構工事などを含めると、総額で約110億を超える大型建設工事事業となっている。ごみ処理が安定してできるように十分検討された

学校教育と施設の在り方

(10月24日現地調査)
小学校の統廃合後の様子および少人数学級について、佐沼小学校、横山小学校、錦織小学校の3校の現地調査を行った。

学校再編の具体的な案は、今、教育委員会で検討中とのことであるが、小学校では旧町域に1校程度とし、中学校では市全域での再編を基本にするとのことである。これか

行政視察報告

10月24日～26日

愛知県岡崎市

ビジネスサポートセンター

当該センターは、地域経済の底上げを図るため商工会議所との連携により開設した。中小企業や起業家の課題解決を支援する相談拠点で、通称「岡ビズ」として成功が広く知られている。相談のリピート率も高く、着実に事業者の期待に添えている。本市においても、事業者の個性につながるサポートを進めるべきである。

岐阜県岐阜市

立地適正化計画

岐阜市は「コンパクトシティ+ネットワーク」の考えで、持続可能な都市経営を目指している。本計画では地域をそれぞれ区分し、20年後の姿を想定した構想となっている。一概に岐阜市の例を当てはめることはできないが、本市においても各町域をどのようにネットワーク化していくかが大きな課題である。立地適正化計画を策定することで、各種計画を有機的に結合できる可能性があると考えられる。



「堆肥センターの民営化」を行政視察(高山市)

岐阜県高山市

堆肥センターの民営化

高山市では、近頃、堆肥センターを民間譲渡した。畜産センターとの併設施設においては事業全体の中で経営されているが、堆肥処理施設単独での採算性は見込めない。環境循環型農業に取り組む本市農業に、有機センターはなくてはならない施設である。効果的な処理方法を各町域に検討すべきである。



登米地方保育所協議会との意見交換会

議会運営委員会

11月15日～16日

茨城県取手市議会

会派および常任委員会が行った視察研修について、その報告書をホームページで公表し、公開に努めている。

また、市議会の会議等を長期間欠席した場合の議員の報酬および期末手当を招集に応じない回数に応じて、減額する特例に関する条例を制定している。(現在まで適用はない)

議会運営では、議員間での公平で自由な議論を尽くすため、「本会議の討論については、一議題につき1人3回まで行うことができる」としていることが特徴であった。

栃木県那須塩原市議会

生乳生産額が本州1位を誇り、視察は牛乳で乾杯して始められた。

議会活性化検討特別委員会において、議会改革のさらなる取組みの一環として、29年度からホームページにおいて議会運営委員会の会議録を公開している。また、市民に親しまれる議会を目指し、年2回「議場コンサート」を開催し、市民に音楽演奏の場を提供している。

一般質問の時間は答弁を除く40分以内、会派代表質問は答弁を除く50分以内とされており、議員の質問時間は充実されているが、終了時間の見通しが立たないことが課題であった。

議会改革推進会議

10月26日～27日

静岡県焼津市議会

議会の活動等を広く市民に情報発信する一つの手段として、リアルタイムに発信できる「フェイスブック」を活用している。

開設は28年8月からで、投稿については「フェイスブック運用ポリシー」を策定して運用し、投稿内容については、本会議の開催状況などの事実のみを投稿していた。本市においても、今年度内の開設を目指している。

静岡県藤枝市議会

予算、決算、提言の審査サイクルを形成し、決算審査特別委員会で「事業評価」を行っている。評価事業は37事業を抽出し事業評価を行い、最終的には21事業について市長に提言書を提出している。本市においても、導入に向け検討に入っている。

岩手県紫波町議会

11月10日

議会の活動状況について、幅広く町民から意見を聴いて議会運営に反映させることを目的に、28年6月から「議会モニター」を設置している。モニター構成は男性6人、女性2人の計8人で、任期は2年間であり、職務内容は議会の傍聴や意見の提出、意見交換などである。本市でも29年12月からスタートさせた。

福島第二原発事故放射能汚染対策特別委員会

11月1日～2日

福島県南相馬市

除染対策と現状

汚染土の中間貯蔵施設への搬出が始まったが、緊急的に地下に埋設した汚染土の処理について安全性などに今後の課題が残る。20キロ圏内の可燃物処理については地元の了解の元、焼却処理を行っている。住宅地での除染作業はほぼ完了しているが、目標値である毎時0.23マイクロシーベルトには、まだ時間を要するものと考えられる。農地についても除染の実施率は100%となっているが、目標値に達していない農地もまだ一部存在しているなど、依然多くの課題を抱えている。

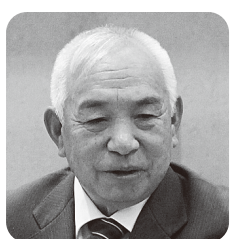
福島県福島市

復興計画と除染の状況

震災後に策定された4つの復興プロジェクト「安心と信頼・子ども・活力・元気」に沿って、復興計画を進めている。震災時7500人が地区外へ避難し、現状では4000人程度が戻ってきてはいるが、今後も多くの市民が戻るように努めている。また、除染については、除染対策委員会を設置して市が行う広域的な除染対策を実施してきた。今後は農業都市としての復活に向けて努力しているとされているが、風評などまだまだ多くの課題を抱えている。

問 登米市斎場の利用予約について

答 早期実現にむけ取り組んでいく



相澤吉悦 議員

問 現在、登米市斎場の火葬の受付時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。私としては、三日目の葬儀をするに当たって、火葬の予約

答 受付時間の延長について、指定管理者と協議を進めていく。
問 この問題は、早期に解決すべきと思うが。
答 既に葬祭業者と指定管理者の3者で協議をし

ている。その問題について、今後早期に実現できるようにしっかりと取り組んでいく。

長期休養している職員について

問 職員が体調不良、病気がけが等で長期に休む職員は何人ぐらいいるか。
答 現在で休職者、病気を取得した職員は合計62人である。

問 その補充はどのような対処しているか。他の職員の負担にならないように、すぐに対応すべき。
答 短期の場合は、部内での応援などで対応する。必要に応じて、臨時職員の任用により対応する。

問 体調不良の原因も調査し、対応すべきでは。
答 職員の健康管理は、病気の早期発見、早期治療に努め、職員からの相談にも対応できる産業保健推進員を新たに配置した。

問 里山活かすバイオガス発電を

答 しっかりと調査・研究する



佐藤恵喜 議員

問 エネルギーの地産地消の観点から木質バイオマスガス発電を導入した気仙沼地域エネルギー株式会社は、熱と電気を販売。間伐材は地元林業家から購入し、その代金は年間約5000万円。熱は市内ホテルに販売。気仙沼の森林面積からすれば、同程度の発電設備はあと24基設置可能で、今後、農業とのコラボを検討しているという。こうした成功事例は全国的にいっぱいある。



放置された間伐材は、バイオマスガス発電で活かされます(登米市内)

問 エネルギーの地産地消の観点から木質バイオマスガス発電を導入した気仙沼地域エネルギー株式会社は、熱と電気を販売。間伐材は地元林業家から購入し、その代金は年間約5000万円。熱は市内ホテルに販売。気仙沼の森林面積からすれば、同程度の発電設備はあと24基設置可能で、今後、農業とのコラボを検討しているという。こうした成功事例は全国的にいっぱいある。

答 エネルギーの地産地消の観点から木質バイオマスガス発電を導入した気仙沼地域エネルギー株式会社は、熱と電気を販売。間伐材は地元林業家から購入し、その代金は年間約5000万円。熱は市内ホテルに販売。気仙沼の森林面積からすれば、同程度の発電設備はあと24基設置可能で、今後、農業とのコラボを検討しているという。こうした成功事例は全国的にいっぱいある。

問 登米市のこれからのまちづくりは、人と環境にやさしい施策というのが基本になると考えるが。
答 議員の質問は、我々市政を担っていくものの基本だと思ふ。調査・研究としか今は言えない。



受付時間延長の早期実現を

問 歴史的建造群の保存について

答 景観形成団体の組織づくりから進めたい

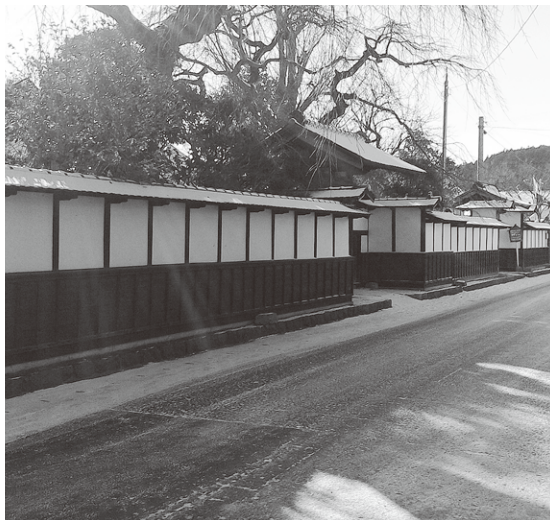


伊藤 栄 議員

「みやぎの明治村」とよまの歴史的建造物は、土蔵・門・板塀等の個人所有と、国・県、そ

して市指定文化財の公有財産で成り立っている。東日本大震災では、個人所有の歴史的建造物の多くが失われ、変わり果てた街並みに驚くばかりである。

景観条例で定められている重要区域の寺池地内でさえ、維持・保全をす



歴史的建造物の適正な管理・保存を

率が市内で最も高い地区でもあることから、現制度のままでは、近い将来「みやぎの明治村」は個人所有の建造物がなくなってしまう恐れがある。今、保全に向け取り組まなければ取り返しのつかないことになる。本市の重要伝統的建造群保存に向けての考えはあるか

同。登米町の若い人たちの町に対する思いや、過日行われた区長会議でも、街並み景観を維持するための話が出た。

現在、東北工業大学で街並みや歴史的建造物の調査を行っているが、文化財や重要伝統的建造物群保存地区の選定となる

問 M・M・W・I・N 啓発の対応は

答 市をあげて取り組む



曾根充敏 議員

みんなのみやぎネット(通称 M・M・W・I・N)は、医療介護で安心と信頼に繋がる情報ネットワークである。積極的に啓発し、

ネットワークを生かすべきだ。この有効性をどのように考えるのか。

加入者が複数の医療機関を受診する場合などで、診断・検査の重複を防ぐことが可能である。

また、救急搬送時などで受診歴のない医療機関において、安全で質の高い医療が可能になる。

この啓発および市民の加入促進を市役所一丸となって進めるべきで



行列のできる投票所

問 投票環境と投票率向上について

答 現状の各種選挙投票率についてどう思うか。

約半数の有権者が意思反映の機会を放棄している。大切な権利を行使してもらいたい。

商業施設を利用した投票所の活用が全国で成果を上げている。これは、

投票に参加しやすい環境を整えるものだ。本市としても、投票環境と投票率向上を図るべきでは。

市民が集まる場所への投票所設置は、利便性を高め、かつ選挙啓発の点でも有効な取り組みだ。市内ショッピングセンターへの投票所設置は、特色ある期日前投票所として、土日祝日に開設することから検討していく。

問 ドクターヘリの活用を

答 有効に活用し救命率向上に努める



熊谷和弘 議員

県としてドクターヘリを導入してから1年を迎えた。本市消防本部の出動要請、出動実績はと

は。傷病者の状態に際し、ドクターヘリを有効に活用しながら、救命率

もに0件である。なぜか。

出動要請を検討した事案については、夜間や悪天候だったため、要請には至らなかった。

今後の本市としてのドクターヘリの運用方針

向上に努める。

市内では、9町域合わせて18カ所が臨時離着陸場に指定されている。看板の設置については、県から補助金が交付される。さっそく設置すべきと考えるが。

問 黒く汚れた校舎、今後の整備は

答 学校再編の取組と合わせ計画する



須藤幸喜 議員

31年度まで市の施設修繕計画に登載されている学校の整備計画は少ない。校舎壁面の黒ずみや汚れなど整備がなされておらず、児童生徒、保護者はもちろん地域住民からも疑問が唱えられているが。

建築から30年が経過した学校施設の外装及び内装修繕整備は、耐震化などの安全性・機能性の確保を優先してきたことから、遅れが生じている。

外壁を含めた整備計画は不十分である。計画的に、そして公平に市民、児童生徒が納得する修繕を行うべきである。



校舎の汚れは、観光客の目にも!

優先順位をつけ、補助金があるなしに関わらず、必要なものはぜひ進める。

問 現状に合った定員管理を

病気休職者が出た職場に、職員の補充を行わなければならない。さらなる休職者が出る

短期の場合は、所属

内での業務配分の調整を行い、長期に及ぶ場合には、臨時職員の任用、あるいは人事異動を行い、負担軽減を図る。

問 職員を増員する考えはあるのか。

現時点では、増員する考えはない。しかし、市民ニーズや行政課題に対応するため、事務事業の見直しによる行政改革を行い、課題解決を図る。



ドクターヘリ

問 創業対策事業支援の効果は

答 売上、雇用とも順調に推移している



佐々木好博 議員

問 ふるさとベンチャー創業支援事業とビジネスチャンス支援事業にて支援を行って来たが、どのような事業を採択し、その効果はどのようなっているか。

答 地域食材を活用したカフェ店の開業や健康に配慮した飲み物の開発などに支援を行って来た。概ねそれぞれ目的を達成しつつあると認識している。



インパクトハブ東京

問 現在の支援の方向性は正しいか。また、問題等はないのか。

答 一部思ったように集客ができなかったことや

問 本市でも「30歳成人式」の開催を

答 今後、前向きに調査研究していく



氏家英人 議員

問 「20歳の成人式」から10年後にふる里で再会を…。20歳から30歳までの10年間は、誰しもがさまざまな経験を。い



やっぱり生まれ育った登米市で暮らそう…

問 市民だけでなく、行政が率先してイノベーションを実現する必要があると思うが、人事異動を見直してはどうか。ジェネラリスト育成、癒着防止といったことにこだわり、職員は相当の時間と労力を費やしている。常識にとらわれず、今こそ体制の見直しを図ってはどうか。

問 9月定期議会に提案した「市長給料20%削減案」は、賛成少数で議会は否決とした。「公約」

問 9月議会会で否決されたことで、議会の総意と受け止め、再提案はしないのか。

問 登米市の林業をどうする

答 低コスト林業を推進する



佐々木幸一 議員

問 市長は6月定期議会の所信表明で、林業の方向を示されたが、改めてどう考えているのか伺う。

問 提案型集約化林業の取組みをどう進めるか。

問 人材の育成・確保に対する認識と対応は。

問 一定の権限とはどこまでか。また、財源を拡大させるとは、どの位を考えているか。



日下 俊 議員

問 総合支所に権限と財源の拡大とは

答 在り方検討委員会において検討する



書庫として活用されている旧議場

問 総合支所の在り方については、在り方検討委員会において検討している。学識経験者や行政区長、市民、関係部長と支

問 空きスペースを書庫として活用しているようだが、保存文書はどの位あり、保存期間は何年か。



伐採期を迎えた山林

問 職業訓練校などの情報収集と状況はどうか。

問 各総合支所には、使っていないスペースがどのくらいあり、有効活用している場所はあるか。

問 有効活用としては、各支所に地域包括支援センターがあり、東和は土地改良区と商工会が、登米は観光物産協会と国際交流協会、米山は、商工会と保護司会、文化協会などが活用。石越は、事業所、障害者センターに、南方は、社会福祉協議会に活用。旧議場は、緊急

時の会議室や書庫として活用している。



指定廃棄物保管庫 (栗原市)

問 農林業系汚染廃棄物の管理について、周辺の住民は、台風や地震などの2次被害や保管が長期化することへの不安が大きくなっている。個人保



工藤淳子 議員

答 早期に長期保管施設での処理を要望する管も含め、農家の方が希望すれば、保管の改善はできないか。長期保管は、このままで大丈夫か。

答 できるだけ早期に、国の責任で、長期保管施設で処理してもらおうよう要望していきたい。今後の処理については、実証試験の結果を踏まえ、今年度中に地域ごとの説明会を開催し、働き込みに取り組む。

問 障がいを持つ人や独居老人などが災害時や困ったときに手助けする制度。どうやっていくのか、具体的に前に進めてもらいたい。

要援者支援制度・ヘルプカードについて

答 受け取る市民の立ち場を踏まえ、いろんな制度を運用していく。

問 産後1〜2ヶ月が母親にとっても子どもにとっても身体的、精神的にも大事な時期と考えるが、支援体制は。

問 男性職員の育児休暇の取得率は何パーセントか。また、産後女性は母親としての責任感が生まれるが、赤ちゃんの抱っここの仕方さえわからない父親もいる。母親の負担が大きくなりつつある中で、男性が参加できる育児支援は。

答 男性職員の育児休暇取得はない状況。マタニ



佐藤千賀子 議員



子どもは未来の宝 子育てしやすい環境を

問 病院、助産院だけでなく、自治体で補助を出して守っていくケアハウスをつくる方向は。

答 支援の切れ目のないサービスはとても重要である。今後調査、整理していく。

問 産後1〜2ヶ月が母親にとっても子どもにとっても身体的、精神的にも大事な時期と考えるが、支援体制は。

・ミニデイサービスにおけるお茶っこ飲みについて
・地域で認知症の方を見守る体制について
その他の質問

問 放射能汚染廃棄物の安全な管理を

答 早期に長期保管施設での処理を要望する



市内認定こども園 第1号

問 市長は、公約と所信表明で少子化対策と子育て支援を掲げている。30年度の予算編成期を迎え、新年度の事業構想と市長のカラーをどのよう



沼倉利光 議員

答 子育て支援として、認定こども園の整備を進めている。子ども医療費助成は、18歳までの年齢拡大の実施に向け検討を進めている。就学援助費は、30年から入学前の2月に支給するなど、子育て支援の新たな取り組みに着手する。

問 子育て支援の下支えを検討するにしていけるか。子育て支援として、認定こども園の整備を進めている。子ども医療費助成は、18歳までの年齢拡大の実施に向け検討を進めている。就学援助費は、30年から入学前の2月に支給するなど、子育て支援の新たな取り組みに着手する。

問 小学1年生児童数の減少について

答 子育て支援の下支えを検討する

問 3万円の情報以外は聞いていない。29年の小学1年生の児童数と比較して、6年後は登米32人が22人に、東和48人が28人、中田137人が87人、豊里58人が38人、米山75人が48人、石越36人が29人、南方67人が61人、津山29人が8人。本気になった子育て環境が必要と思うか。

答 子育て支援の下支えを検討する。この数字は、地域にとつて大変シロツクな数字だと思う。

問 30年度予算編成時期であるが、市長の目指す重点施策は。

答 人口減少対策、産業振興、地域医療充実、教育振興、健康なまちづくり、安全安心なまちづくり、効率的な財政運営の7つの施策である。



田口政信 議員

問 30年度予算編成の基本的方針は

答 7つの重点施策を推進していく



1月15日から25日まで市内全域で開催された「学校再編に係る座談会」の様子

問 現時点で予算の概略が決定していると思うが、具体的な施策は何か。

答 まだ具体的な予算編成の段階でないので、精査をして2月議会に提案したい。

問 合併特例債、過疎債、辺地債の該当事業は。

答 新クリーンセンター整備事業や(仮称)新登米懐古館建設、長沼ポルト場クラブハウス、米谷病院建設などである。

問 「小中学校再編基本方針」が策定され、学校統合の準備がされていると思うが基本的な考えは。

答 集団生活の中で切磋琢磨しながら、思考力、判断力、問題解決能力などを育み、学力向上や社会性、規範意識などを身

問 幼稚園から中学校まで、一クラスの学級を有する学校は何かあるか。そして、その状況が教育環境としていいのか。

答 45校中31校で、決して望ましい状況ではない。一定規模の中で子供たちの資質を高めてくためにも、統合の判断基準とする。

問 産後ケアハウス設置の考えは

答 今後調査、整理し考えていく

問 庁舎・公民館などでの喫煙場所は

答 ベランダ・屋上はすべて喫煙不可



上野 晃 議員

問 庁舎や指定管理者が管理する施設（公民館など）のうち、ベランダ・屋上を喫煙場所に指定するものは。

答 庁舎では指定していない。また、「通用口」「軒下」も指定しない扱いにしており、公民館などにも、これら4点を喫煙場所に指定しないようにお願いしている。

問 中田庁舎の喫煙場所については。

答 2階のベランダと3階の教育委員会前ベランダは、共に「旧」喫煙場所である。



受動喫煙による健康への悪影響については、科学的に明らかとなっている（厚生労働省）

問 難解な病院問題などに真正面から取り組むことは当然重要であるものの、時に他のアプローチで市民の健康増進を図ることもまた、不可欠な視点と考えるが。

答 国からの通知（受動喫煙による健康への悪影響については、科学的に明らかとなっている。）にあるような、根拠に基づく正しい情報を発信し、また喫煙者については、自分の呼出煙（吐き出した煙）、副流煙（たばこの先から出る煙）が周囲の人に悪影響を及ぼしていることを認識する必要があるなど、社会全体として受動喫煙防止対策に取り組むという気運を醸成することが重要と認識している。

その他の質問
・不動産登記法について
・司法書士の数について
・弁護士活用の活用について

問 登米市に若者を呼び込む政策は

答 交流人口を増加し移住定住を促進



関 孝 議員

問 人口減少が続く中で、本市の元気と活気を創りだすのは若者の力である。本市に若者を呼び込むために、市長はどのような政策を考えている

答 若者や子育て世代が気軽に集い交流を深め、本市の魅力向上につながる若者視点による施設新たに整備したい。

か何う。

答 PR動画の制作やSNSによる情報発信、首都圏での移住フェア、移住体験ツアー、出会いイベントの開催、住宅の取得や賃借の支援に取り組んでいる。

問 若者に就業体験の機会を提供する、インターンシップが効果的では。

答 それぞれのニーズに合わせたメニューを真心込めて紹介していく。

問 三陸道を活用することにより利便性の良い、旧米谷工業高等学校の体育館を若者のフットサル等に有効活用できないか。

答 県の施設であることから、必要であれば要望させていただく。

長沼フットピア公園を花の公園に

問 県内有数の観光地でもある長沼フットピア公園に、四季折々の花の植栽を充実し、誘客につなげてはどうか。

答 公園として更なるイメージアップにつながるものと考え、景観を大切にしながら、公園全体の魅力向上に努めていく。

問 「内部統制」導入の必要性は

答 導入の効果と必要性はある



伊藤吉浩 議員

問 29年6月の通常国会において、「内部統制」に向けて地方自治法の一部改正が可決された。必要性の認識を伺う。

答 「内部統制」導入の効果と必要性はある。国の検討結果やガイドラインを踏まえ、検討する。

問 「内部統制」とは、内部統制である。「内部」とは市役所内部で、「統制」とはリスクの予防であり、摘発、発見修正が大きな目的である。さらに、首長の責任と権限が法的に明確化されたことになるが。

問 県内の工事入札で職員と業者が官製談合違反で有罪判決を受けている。私的には、予定価格の「事後公表」が不祥事につながっていると考える。

答 「事前公表」は18年から試行して21年に取り止めをしているが、精査をしていきたい。

問 首長の責任として不祥事を起さない対策はもろろであるが、職員が不祥事に巻き込まれない仕組み、職員を守るための仕組み「内部統制」づくりが大切と考えるが。

答 そうした形を作っていく。行けるよう頑張っていく。



「内部統制」導入による首長のマネジメントの強化を

問 所信表明と人口減少対策について

答 持続的発展のために重要な課題

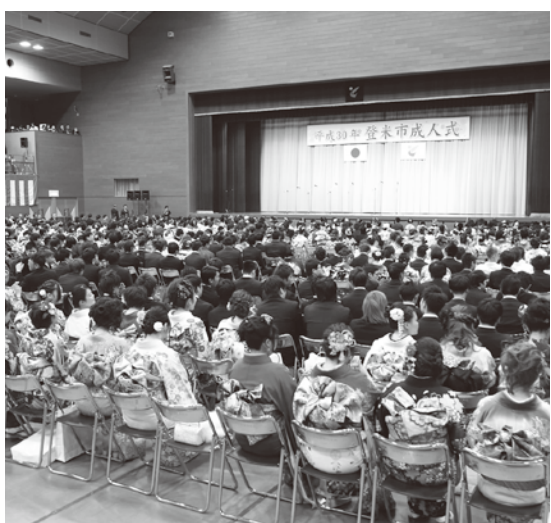


八木しみ子 議員

問 市長は所信表明の重点施策の第一に人口減少対策を掲げ、その対策に①移住・定住対策②工業団地の整備③女性の活動支援を軸とした取組を推進していくとしている。

問 本市の魅力はどうPRし人口減少対策に結びつけるのか具体的取り組みを問う。

答 移住・定住対策については、昨年度から住宅取得などの支援事業として住まいサポート事業に取り組みできており、本年11月までの実績は移住が46件・132人、定住が125件・479人となっている。本年度から移住体験ツアーを実施



年々減少する新成人 急がれる人口減少対策

し、登米市での暮らしを体験する移住お試し住宅を設置した。希望者への情報提供、相談・支援体制は、市移住・定住サポートセンターを核に展開している。また、子ども達の育ちを支える保育施設の整備や待機児童の解消、児童館等の子育て支援施設を整備し、機能充実を図る。

工業団地の整備は、本年4月から長沼第二工業団地の分譲を開始。（仮称）登米インター工業団地は30年度完成に向け整備中であるが、今後も積極的な企業誘致活動を推進し、若者の移住・定住に結びつくよう取り組む。

問 東北大学との連携強化は大丈夫か

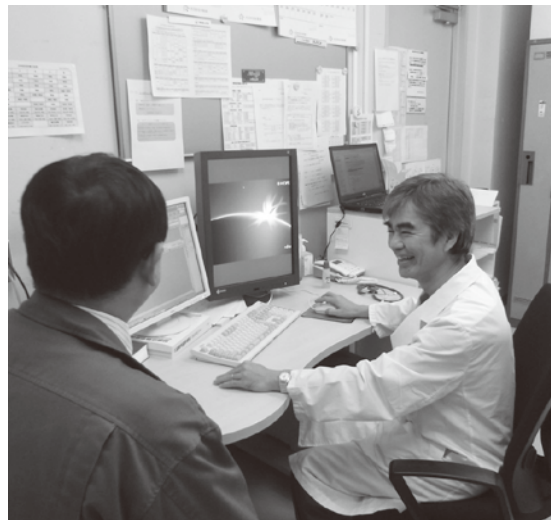


岩淵正弘 議員

答 地域総合診療医育成講座を設置

地域総合診療医育成寄附講座は、東北大学と連携し、総合診療医の育成・確保を図る事業であるが、市民の安全・安心を担う地域医療の拠点と

して、継続的・安定的に良質の医療を提供できるか。
【答】10月1日に東北大学に地域総合診療医育成寄附講座が開設され、教育研究機関として市民病院に総合教育センターを設置した。教員は2人で週2日から3日間、市民病院内で医学生等の受け入れ体制の準備・調整を行っている。総合診療医を目



総合診療医による診察の様子

指す東北大学の医学生や総合診療専門研修専攻医が、実習・研究を通じて、本市での地域を経験することにより、将来、勤務医または開業医として医師の確保につなげたいと考えている。
【問】24時間医療を提供する病院において、交替制勤務で少なからず健康上、安全上もリスクを伴うのでは。
【答】日勤者と比較すれば、どうしても生活のリズムは不規則になる。夜勤を行う看護師の負担軽減を図るため2交代制を採用し、生活リズムの安定、睡眠不足や疲労蓄積を軽減することで、患者の皆様へ安全・安心な医療の提供を目指している。
【問】医師、看護師の接遇が大変良いと市民から聞か。
【答】講習会、研修会、看護師研究発表会を通じて、患者さん第一に日々指導している。

議会の動き

Table with 2 columns: Date and Meeting Name. Includes dates from 2/2 to 12/26 and various committee meetings and council sessions.

あなたの声 市民メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

時間を有効的に！



鈴木しげ子さん (登米)

最近、よく1人暮らしの方や高齢者の方に、「申請等の手続きで各町の総合支所に向く事が、とても大変だ」という声が多く聞かれます。私も仕事に就きながら、介護を必要とする高齢者を抱えています。平日の空いた時間に複数の手続きを行う事は大変ですし、効率的ではないと思います。そのことを1カ所の総合支所に集約できれば、スムーズに手続きを済ませる事ができ、そして、もっと時間を有効に使える事ができるのではないかと日々感じています。

集約は、多忙な日々によつとした「ゆとり」を与えてくれると思います。さらに、公共交通機関の不便さも老若男女問わず訴える声も多く聞かれます。市民の生活の質を上げ、市民が安心安全に生活ができるよう、ぜひ検討していただければと思います。

登米市議会に期待すること

原稿依頼を受けて、「登米市の問題？」と改めて考えてみました。が、各分野において、多様に山積していることは言わずもがなです。私は、現在64歳。パートタイムですが、小規模保育事業所で働いています。この目の前の小さな子ども達に、「私達は何を残しているのだろう」と思い立ち、図書館に向きました。「第二次登米市総合計画」によると、2016年から2025年にかけて「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」のスローガンのもと、子育て、教育、医療、介護等々を体系化し、施策が明示されています。



千枝子さん (中田)

津山町横山で林業に将来の希望を持ち、専業で農林業経営をしています。この仕事を始めてからもうすぐ40年になり、保育してきたスギやヒノキもすばらしい木に育ち、いつでも販売・利用ができるようになりましたが、林業を巡るさまざまな問題は、林家だけでは解決できない部分もあります。林業がこの地で魅力のある仕事として発展していくために、行政の支援もお願いいたします。



尾張まさるさん (津山)

農林業を営んで

農業については、19年に法人化をしました。現在まで地域の農家と共に、さまざまな取り組みをしてきました。が、近年二ホンシジヤやカモシカが増え、津山町全域でもその被害が確認されるようになりました。このまま増え続けることによる農作物への影響がとて心配です。早急な対策を考えていただくようお願いいたします。

議会モニターに委嘱状を 交付しました

市議会では、市民とともに開かれた議会づくりを目指しています。市民の皆さまから議会活動や議会運営に関して意見を寄せていただくため、議会モニターを募集し、申込みのあった7人に対して、委嘱状を交付しました。

【モニターの役割】

議会や委員会を傍聴し、議会運営についての意見や提案などをいただきます。

【議会モニター】

千葉 徳郎さん（迫町）
高橋 文幸さん（迫町）
森田 侑子さん（中田町）



委嘱状の交付式

中津川 弘志さん（南方町）
及川 由美子さん（南方町）
鹿野 昭子さん（米山町）
佐々木 三男さん（豊里町）

【おわびと訂正】

「とめ市議会だより52号」の6ページ、人権擁護委員候補者の氏名に誤りがありました。

おわびして訂正いたします。

正しくは、「北條敏夫氏」でした。

意見書

○核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

提案された意見書は、本会議で可決し、関係機関へ送付しました。

議会からのお知らせ

2月定期議会

2月2日（金）開会予定

傍聴してみませんか。

本会議は、簡単な手続きで、個人でも団体でもお気軽に傍聴することができます。

詳しい議会日程は、議会ホームページや議会事務局にお問い合わせください。



議会のホームページを 開設しています。

登米市議会 検索

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

あとがき

明けましておめでとう
ございます。

本年は戌年ということ
で、戌にちなんだ言葉を
少し調べてみたところ、
「戌、笑う」という言葉
がありました。

いわゆる相場の世界の
格言ですが、「戌の年の
株式市場は、上昇する傾
向にありたい」と願いを
込めた言葉だそうです。
日頃の生活でも上向き
の1年となりますよう、

ご祈念申し上げます。
（曾根充敏）

広報広聴委員会

委員長	日下 俊
副委員長	佐々木好博
委員	上野 晃
〃	曾根 充敏
〃	須藤 幸喜
〃	岩淵 正弘
〃	佐藤千賀子
〃	熊谷 和弘
〃	関 孝
議長	及川 昌憲